

一般社団法人横浜市工業会連合会
令和8年度 事業計画

令和7年度の国内経済は、米国関税措置や中国による輸出規制などが経済の先行きを不透明にしているものの、AI関連を軸に設備投資が徐々に増加するなど緩やかに回復しています。しかし、多くの中小事業者においては、人手不足や原材料費の高騰、為替の変動など、依然として厳しい状況が続いています。

このような中、横浜市工業会連合会（以下、市工連）では、新規事業として外国人の採用・登用セミナーを開催したほか、テクニカルショウヨコハマ2026「横浜ものづくりゾーン」への出展促進、学校と企業の「就職に関する懇談会」開催など、各事業を実施しました。

横浜産貿ホールは平成19（2007）年から施設運営を担っていますが、施設の安定的な運営と団体収益の改善を図るため、料金改定を本年4月1日付で初めて行います。

8年度は、設備投資等の増加による堅調な経済成長が続くことを期待し、市工連としても積極的に各事業に取り組みます。

特に、来年3月から開催されるGREEN×EXPO 2027に向け、横浜市経済局やIDECと連携したイベントの実施準備を進めます。

また、従業員の資格取得にかかる講習料の費用の一部補助を拡充するなど、企業内の人材育成や技術力の向上の支援に取り組みます。

販路拡大に向けては、テクニカルショウヨコハマや商談会を開催するほか、人材確保に向け、高校生等の採用支援を目的とした就職懇談会の開催や出前講座・工場見学を引き続き行います。

T3では昨年10月に2区画が空床となりましたが、本年3月と4月に両区画とも入居となりました。

各委員会や機関誌「よこはま市工連」、地域工業会の活動支援などを通じ、経営者や技術者同士の顔の見える関係が広がり、深まるよう取り組んでいきます。

令和8年度事業

I	ものづくり活性化事業	25,050千円
II	産業振興施設の管理運営	83,320千円
III	市工連及び地域工業会の活性化	11,761千円
IV	GREEN×EXPO 2027 出展検討・準備事業	5,000千円
V	法人運営（法人会計）	5,179千円

※横浜市の負担金及び補助金については、3月の横浜市議会の議決によって決定されます。

I ものづくり活性化事業

【25,050千円】

1 販路拡大事業

神奈川県下を対象にした大型商談会の開催のほか、受発注情報の整備・充実を図り販路拡大を促進するとともに、「テクニカルショウヨコハマ2027」（第48回工業技術見本市）では、成長産業分野の振興や小規模企業の需要開拓など機能充実を図る

(1) 商談会の開催（横浜市補助事業）

会員企業の新事業展開や新製品開発、取引機会の拡大を図るため、（公財）神奈川産業振興センター等に協力し、受発注商談会を開催

ア 受発注商談会 「オール神奈川」（後援）（オンライン開催）

イ 受発注商談会 「テクニカルショウヨコハマ2027」に合わせて開催される「横浜商談会」（主催）

(2) テクニカルショウヨコハマの開催（横浜市負担事業）

新製品・新技術等を一堂に展示し、技術の向上とビジネスチャンスの拡大を図るため、

(公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により、首都圏最大級の「テクニカルショウヨコハマ 2027」を開催

開催日：令和9年2月3日(水)～5日(金)

(3) 横浜ネットワークプラス(受発注情報システム)の運営(横浜市補助事業)

ネットワークプラスによる企業のビジネスチャンスの拡大促進

※ネットワークプラス

市工連ホームページにおいて、事業内容・製造能力・技術等に関する登録会員企業のPRをするとともに、発注企業や研究機関等が登録企業について、業種別・加工種別・キーワード別に検索・閲覧できるシステム

(4) 横浜市との事業連携

横浜市が経済成長戦略として進める、様々な施策について、会員への周知等、横浜市と連携して事業推進

2 ものづくり人材育成支援事業

ものづくり産業の担い手となる人材の育成及び確保のため、学校と企業との情報交換を図る事業のほか、高校生等を対象としたものづくり現場の魅力を伝えていく事業を実施

また、研修会の開催等を通し、人材育成の他、会社の枠を越えた社員同士の情報交換、交流の機会を提供

(1) 新入社員合同研修

マナー研修のほか、「帆船日本丸」での甲板みがき、マスト登り、漕艇等の訓練を取り入れた合同研修により、チャレンジ精神や協調性を養成し、企業の将来を託せる人材を育成

日程：4月7日(火)～8日(水)

会場：帆船日本丸及び同訓練センター

(2) 新入社員等フォローアップ研修・交流会

今年度入社された新入社員をはじめ中途採用で入社された方など、入社2年目までの若手社員を対象に、企業に愛着を感じ、会社の戦力として活躍する人材を育成するとともに、参加者同士の同世代ネットワークの形成を支援

(3) 就職に関する懇談会の開催(横浜市補助事業)

横浜市内を中心とした県立高校等の進路指導担当教員と市内中小企業の経営者や採用担当等を対象に、公共職業安定所及び横浜市との共催で企業の採用情報、高校生の就職状況等を情報交換する懇談会を開催

日時：6月9日(火)14時～

会場：横浜産貿ホール マリネリア

(4) ものづくりの魅力を伝える事業(横浜市補助事業)

ア 出前講座の開催

経営者や技術者が、高校生・大学生や職業訓練生に対し、中小企業の仕事ややりがいについて講演し、中小企業の魅力を伝える講座を開催

イ 工場見学会の開催

ものづくりや製造業に対する理解を深め、人材や後継者の確保を図るため、就職指導教員と高校生・職業訓練生等を対象に、市内中小企業の工場見学会を開催

ウ テクニカルショウヨコハマ見学会の開催

ものづくりや製造業に対する理解を深めるため、神奈川県内の高校生を対象に、出展企業が高校生からの質疑応答を受けつつテクニカルショウヨコハマを見学する見学会を実施

- (5) 技術者育成支援事業（横浜市補助事業）
 中小製造業の礎となる人材の育成、社内の技術力向上、技術承継を推進するため、従業員の技能資格の取得に対して受検等にかかる費用を助成
- (6) 技能検定試験に関する講習料の支援【拡充】
 本来、講習料の補助は技能検定に合格した場合を対象としているが、技能試験に挑戦する機運醸成に向け、受験不合格者に対しても技能検定試験の講習料を一部助成
- (7) PR 動画作成支援事業
 中小企業における人材確保を目的として、若者の製造業等への理解を深める PR 動画を通じて製造業等への若者の就職を促進するため、動画制作費用の一部を助成
- (8) 多様な人材活用の支援
 製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、女性、高齢者、外国人など多様な人材の活用に関する情報提供を実施
- (9) 中小企業の人材確保支援事業
 製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、横浜市経済局ものづくり支援課と連携して事業を推進

II 産業振興施設の管理運営

【83,320千円】

試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トライアルステージ）及び横浜産貿ホール（マリネリア）の管理・運営を行う

1 試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トライアルステージ）事業

鳥浜トライ&トライアルステージ（T3）を管理運営し、新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援。7年10月に2区画が空床となったが、新たな入居者を獲得引き続き安定運営を図るとともに、建設時の借入金を返済

- ・所在地：横浜市金沢区鳥浜町16-6
- ・施設内容：試作用賃貸スペース 全5区画 1,265㎡

区画	会社名	住所	事業概要	会社規模	入居日
C	株LiLight	中区相生町	システム開発 キッティング	従業員15人 資本金1,000万円	3月1日
D	株大幸	磯子区東町	船舶機器の修繕	従業員38人 資本金1,000万円	4月1日

2 横浜産貿ホール（マリネリア）の管理・運営事業

7年11月の理事会議決に基づき8年4月1日受付分から新料金表により予約を受付け引き続き、神奈川県内及び東京城南地域では希少な中型展示場の運営により、BtoB、BtoCビジネスを支援し、神奈川県・横浜市内の産業振興に寄与

また、7年度に引き続き県・市から負担金を得て、天井配線工事（第2期）を予定
 所在地：横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1・2F
 施設：展示場（1F 1,630㎡）、小展示室（2F 70㎡）

Ⅲ 市工連及び地域工業会等の活性化の取組

【11,761 千円】

5つの委員会を設け、各種事業の検討・実施に取り組むほか、地域工業会及び青年経営者会の活動を支援。また、地域工業会からの要望をまとめ、横浜市長へ要望書を提出

1 委員会及び事業内容

- (1) 総務委員会
 - ア 理事会・総会への議案の提案
 - イ 他の委員会に属さない事項

- (2) 政策委員会
 - ア 横浜市との中小企業支援施策の立案検討会の設置
 - イ 地域工業会からの要望の検討・とりまとめ
 - ウ 横浜市予算に対する政策要望への対応
 - ※施策検討プロジェクトの設置
 - 委員会のもとに横浜市職員と各地域工業会代表等によるプロジェクトを設置し、具体的な施策について検討し、要望の素案を策定

- (3) 事業・企画委員会
 - ア 既存及び新規事業の検討・調整
 - イ 会員企業からの「すぐれたアイデア提案者表彰」への応募を促進及び審査
 - ウ 会員企業の交流活発化
 - (ア) 施設見学会
 - GREEN×EXPO 2027 開催を見据え、環境・エネルギー関係施設を見学
 - 日程は調整中（秋開催予定）
 - 見学先：みなとみらい21 熱供給(株) センタープラント（西区桜木町 1-1-45）等
 - (イ) 会員相互の情報交換会・交流会の開催

- (4) 広報・産学委員会
 - ア ホームページ、メールマガジン及び情報紙での市工連事業のPR
 - イ 機関誌の企画・編集

- (5) 雇用・環境委員会
 - ア 中小企業の人材確保と人材育成への対応
 - イ 中小企業の環境問題及び省エネ対策の取組の支援
 - ウ 人材確保・育成に関する調査

2 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

地域工業会及び横浜青年経営者会へ助成金を支出

3 産業振興に関する要望

- (1) 横浜市等と当連合会との施策検討会の運営

- (2) 令和9年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書を策定・提出

4 すぐれたアイデア提案者表彰

会員企業における、技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を顕彰。また、事業・企画委員会や広報ツールを活用して応募提案の増加を推進

5 会員企業等のネットワークの活性化

- (1) 会員企業間の情報交換の場の創出
賀詞交歓会開催にあたって、広く会員企業への参加を呼びかけ
- (2) 各委員会の交流の活性化

6 情報発信事業

- (1) インターネットを活用した情報提供
ホームページ、メールマガジンの発行（年間：22回程度）による情報の提供
- (2) 機関誌等の発行
市工連の機関誌「よこはま市工連」、各種事業を案内する情報紙「市工連かわらばん」を地域工業会と連携し発行
ア 機関誌「よこはま市工連」 年2回発行
イ 情報紙「市工連かわらばん」 年6回発行

7 会員サービス事業

- (1) 「災害共済」等、会員企業やその従事者を対象とした各種福利厚生事業を実施
- (2) 製造物責任法による企業の賠償責任対応のため、市工連独自のPL保険への加入を促進
- (3) 会員サービスの向上に繋がる団体割引等の取りまとめ

8 横浜市事業の周知・啓発

現在、横浜市経済局が推進する「脱炭素取組宣言」をはじめ、横浜市の各種施策・取組等を地域工業会に周知・啓発し、横浜市と連携を図る

IV GREEN×EXPO 2027「交流・創発スペース」でのイベント実施準備【新規】 【5,000千円】

横浜市出展の先進技術体験ゾーンに設けられる来館者と出展社が交流・創発する「交流・創発スペース」で、横浜市経済局やIDECと連携して2日間程度のイベントを実施

本年度は、実施に向けたプラン概要の検討や実施計画づくり等を、青年経営者会のメンバーとともに進める

V 法人運営（法人会計）

【5,179千円】

総会・理事会の開催などにより、市工連を運営